



夏休みの頑張りが、ぞく、ぞく、ぞく

休み明けの2学期初日、登校する子ども達のランドセルはパンパンです。それは、言わずと知れた夏休みの課題が詰まっているからです。

登校途中の子ども達にインタビューすると、「昨日、遅くまでかかってやっと終わった。」と、笑顔で答える子。「7月中に全部終わらせました。」と、ちょっと自慢気に答える子と、まちまちでしたが、久々に元気な子どもたちの姿が、勢揃いしました。

先週から今週にかけて職員は、子ども達が夏休み中に取り組んできた、たくさんの課題や作品の整理と評価に大あらかわ。お習字、絵画ポスター、自由研究、わたしの朝ご飯、17文字のふれあい・・・と、校長室のテーブルに山積み提出された作品達は、どれも力作揃い。1年生のアサガオ、3年生のホウセンカ、5年生のバケツイネも無事帰ってきました。35日間の管理に改めて御礼申し上げます。

中でも、多くの子ども達に取り組んだ、石川町教育委員会・青少年健全育成推進協議会主催「家族への手紙コンクール」への作品は、発達段階に違いはありますが、心温まるものばかりでした。一部を紹介します。



- ☆おばあちゃん、わたしもっともっと大きくなるからずっと見てね。
- ☆お母さんには、ありがとうがいっぱいだよ。
- ☆みんなは、ばあばのごはんの大ファンだよ。
- ☆大きくなったら、お父さんの後をつぐよ。5代目はまかせてね。
- ☆ありがとうをこめて手紙をかきます。
- ☆ぼくがお酒がのめるようになるまで、健康で長生きしてください。
- ☆口では生意気なことを言うけれど、心の中はちがいます。
- ☆言葉で伝えるのは恥ずかしいから、手紙で伝えます。

「家族への手紙」の中からほんのワンフレーズを切り取ったものですが、子どもたちの素直な心が表れた珠玉の言葉です。家庭での生活様子や会話が、目に浮かび聞こえてくるようです。充実した夏休みの陰には保護者の皆様のお力添えがあったことと思います。感謝申し上げます。

避難訓練、目指せ100点満点！（9月は防災月間）

防災の日に関連して、9月8日（金）に本校でも避難訓練を実施しました。今回の訓練は地震を想定してのものです。休み時間に実施したため、予告済みとはいえ、いざ実施となると焦ってしまった子もいたようです。

しかし、消防署の方からも「大変まじめな態度で、整然と避難できていた。」とお墨付きをいただきました。生憎の雨のため避難場所は体育館となりましたが、春の訓練に比べ一人一人の意識も高く、合格点の訓練となりました。

避難後、今回は消防署の方々の計らいで特別に起震車体験、スモック体験を行いました。百聞は一見にしかず、実際に体験することで、地震や火事の恐ろしさを実感した子ども達です。

消防署の皆様、貴重な体験をありがとうございました。

※避難訓練の様子はHPをご覧ください。